

肌をさすような寒さも和らぎ、暖かな春が近づいてまいりました。教室に差し込む穏やかな光が、私達に新しい季節の訪れを感じさせます。

本日、この佳き日にご卒業される6期生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。在校生を代表して、心よりお祝い申し上げます。

思い返すと、先輩方と過ごしたこの二年間は短くあっという間に過ぎていきました。その中で先輩方は私達にかけがえのないものを残してくださいました。

ちようど一年前、私は書記局員として、三年生を送る会の準備を先輩方と一緒に行っていました。「今までになかったことをやろう。」と、生徒会でメッセージボードを作ったり、動画を作ったり、アンケートを実施したり、これほど

たくさんの企画をするのは初めてではないかというぐらい、盛りだくさんの三年生を送る会を行いました。約二週間という短い期間でしたが、生徒会の先輩方は、毎日のように生徒会室に残って会の準備に一生懸命取り組まれ、生徒会でない先輩方も快く準備を手伝ってくださいました。準備はとても大変でしたが、先輩方の、親しみやすく活気ある雰囲気、初めての1・2年生だけの

活動で右も左もわからなかった私の緊張をほぐしてくださいました。私は先輩方の準備に対する姿勢から、時間が限られていてもその中でなにかできることはないか創意工夫を重ねていくことの大切さを学びました。

また、今年度の学校祭のミュージカルは二年ぶりにフェニックスプラザで行われました。私はキャストだったのですが、先輩方は演技指導や台本の読み合わせをしてくださいました。特に演技指導では、親身になって一人ひとりに演技のポイントを教えてくださいださることはもちろん、場を盛り上げて楽しく練習できる雰囲気を作ってくださいました。ミュージカルだけでなく学校祭全体を通して、先輩方は運営や部門長の立場として中学校全体を導いてくださいました。

先輩方のおかげで、中学生全員が一丸となって学校祭を作ることができました。内容の濃い脚本を書いてくださったり、卓越した映像を作ってくださいたり、合唱練習のための音源を一から作ってくださいたり、クオリティの高いマスコットを率先して作ってくださいたり、部活動での練習の集大成を大舞台

で披露してくださったりと、それぞれが自分の持っている強みを最大限に活かし、活躍する先輩方を見て、私達は「私も好きなことに挑戦してみよう」と自然と勇気づけられました。

二ヶ月の休校期間を経て高志中学校に入学された先輩方は、新型コロナウイルス感染症により様々な行事が中止、または縮小されて、不満や不安を抱えていたことと思います。その中でも、どんなときも諦めず、努力と工夫を惜しまない先輩方は、いつまでも私達の目標です。様々な場面で前に立ち、高志中学校のリーダーとして活躍する先輩方の背中には、私達の目に大きく頼もしく輝いて映っています。先輩方は、親しみやすく、活気のある雰囲気です。いつも私達を包んでくださいました。それは他の学年には出せない、六期生だけの雰囲気です。次は、私達が学校をまとめ、導いていく立場になります。先輩方から学んだことを胸に、一人ひとりが輝き、努力を惜しまずに、生徒が一丸となれるような七期生ならではの雰囲気を作っていけるよう邁進していきます。

これから、夢に向かってそれぞれの道を歩むとき、そこには、いくつもの困難が待ち受けているかもしれませぬ。しかし、先輩方の周りにはともに苦難を乗り越え、協力しあい、笑いあつた仲間がいます。そしてその仲間たちや先生方と共に、高志中学校で培つてきた経験や絆は、これからどんなときも強く強く背中を押してくれるはずです。

改めて、先輩方と過ごした二年間は唯一無二の経験と学びで溢れています。最後になりましたが、卒業生の皆様のさらなるご活躍とご健康をお祈りし、在校生代表の送辞とさせていただきます。

令和五年三月二十二日 在校生代表 川島七海